

新たな学校生活がスタート 市内小中学校で入学式

市内小中学校で4月7日、入学式が行われ、新たな学校生活が始まりました。

このうち、穂波小学校では、男子22人、女子10人の新入学児童を迎えました。松田和信校長が「明るく元気に勉強、運動にがんばってください」と呼び掛け、在校生代表として濱山愛美さん（6年）が「たくさん友達をつくって一緒に楽しい学校生活を送りましょう」と新入生を温かく歓迎しました。

また、今年度も市交通安全母の会連合会（花岡トキ会長）から黄色安全帽が、医療法人白生会胃腸病院（佐藤浩平会長）から防犯ベルが市内の小中学校新入学児童全員に贈られました。



穂波小学校の新入生の皆さん



消防団協力事業所の認定証を受け取る箱田氏

地域防災体制の一層の充実を

市では、従業員が消防団活動に参加しやすい環境づくりを行っている事業所を「消防団協力事業所」として認定し、現在市内6事業所が認定を受けています。

このほど、特に実績が顕著な事業所として株式会社箱田住宅工業が総務省消防庁消防団協力事業所に認定され、4月13日、福島市長より伝達が行われました。同社は、代表取締役自身が消防団長であり、従業員のうち9人が消防団員として災害時や消防行事に活躍しています。認定書を受け取った箱田鐵雄氏は「団員のサラリーマン化が進み、消防団の活動には事業所の協力が不可欠。協力事業所の拡大を願う」と話していました。

火災の発生防止を呼び掛ける

「『消したかな』あなたを守る 合言葉」をスローガンに春の火災予防運動（4月11日から17日）のパレード出発式が4月11日、松の館駐車場で行われました。出発式には、消防団員約70人、23台の消防車両が参加。福島市長は「関係者一丸となって、防火に対する関心を啓発し、安全・安心なまちづくり推進に取り組んでください」とあいさつ。箱田団長が「各地域に火災がないよう地域住民との連携を密にして防災に力を入れてください」と訓示しました。

式終了後、団員は市内各地をパトロールし、火災発生予防を呼び掛けました。



出発式で団員にあいさつを述べる福島市長



山火事防止を呼び掛ける車両

貴重な森林を火災から守る 山火事防止パレード

「その油断 緑の森を 火の海に」を統一標語とした山火事防止運動強化期間に伴い、4月15日、県、市、消防署、森林組合、農協の職員らが車両で市内をパレードし山火事防止を呼び掛けました。パレードは、市役所前を出発し、森田、木造、車力地区の屏風山森林地帯を巡回しながら「空気が乾燥しているときには、焚き火や野焼きはしないでください。タバコの火は必ず消し絶対投げ捨てないでください」と市民に呼び掛けました。

山火事は、一瞬にして森林を消失します。貴重な森林財産をみんなで大切にしましょう。



稲垣野菜集出荷貯蔵施設が完成

JAつがるにしきた稲垣野菜集出荷貯蔵施設が完成し、4月11日、同施設内で竣工式が行われ、農協、県、市関係者ら約50人が完成を祝いました。

施設は鉄骨2階建て、予冷库2基に加え、貯氷量8トンの製氷貯氷機を備え、6月から始まる本格的なブロッコリー収穫を前に、産地拡大へ向けた出荷体制が整いました。

竣工式では山田衛代表理事組合長らが玉串奉てんを行い、施設の安全を祈願しました。引き続き行われた完成祝賀会では福島市長が「農協関係者の皆様のご協力のもと、つがる市の大地の恵みを最大限活かした『つがるブランド』を全力で進めて参ります」とあいさつを述べました。



安全を祈願する山田代表理事組合長



ごみを拾い集める参加者

ごみのない美しいまちを

4月23日、車力警察官駐在所連絡協議会主催の「第8回クリーン作戦in車力」が行われ、同協議会のほか、交通安全協会車力支部、市防犯指導隊車力支隊、交通指導隊車力隊ら約30人が参加しました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、3班に分かれて、むらおこし拠点館「フラット」周辺の幹線道路や車力漁港までのメロンロード付近のごみを丁寧に拾い集めました。同協議会の佐々木一郎会長は「年々ごみの量は減ってきているが、テレビやタイヤなどはまだ不法投棄されており残念」と話していました。

シイタケの植え付けを体験

稲垣西小学校で4月19日、「キノコ栽培教室」が開催され、5年生12人がシイタケの植菌作業などを体験しました。教室は、子どもたちにキノコ栽培の体験を通して森林や自然を大切にする心を育んでもらおうと西北地域県民局と津軽流域林業活性化センターが開催しました。

この日はまず「ほだ木」と呼ばれる菌を植え付けるナラの木に植菌棒を使ってシイタケ菌を植え付け、雑菌が入るのを防ぐためにろうを塗ってふたをしました。その後、ほだ木を校庭に立てて紐でまとめ、水を掛けシートで覆いました。今後、水管理やほだ木の組み替えを行い、早ければ今秋にも収穫ができるそうです。



シイタケ菌を丁寧に植え付ける児童



元気にマスコットを手渡す園児

菰槌保育園児が交通安全呼び掛け

交通安全運動の一環として4月19日、菰槌保育園の園児25人が路上でドライバーに安全運転を呼び掛けました。

園児たちは元気な声で「運転ごろうさま。安全運転をお願いします」と保護者や市赤十字奉仕団が制作した交通安全の標語入りの手作りマスコットをドライバーに手渡し、交通事故防止を呼び掛けていました。

また、同日、園内で交通安全教室も行われ、館岡駐在所の二本柳巡査部長を講師に迎え、信号機や横断歩道の渡り方などの交通安全について学びました。